

# 平成 28 年度 第 2 回 しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 28 年 11 月 30 日 (水)

13 時 40 分～14 時 45 分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」2F 会議室

## 1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 17 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。  
(協議会規約第 6 条第 2 項)

## 2 あいさつ

(しなの鉄道活性化協議会会長)

当協議会会長を務めさせていただいております、しなの鉄道(株)専務取締役でございます。本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

平素はしなの鉄道の運営に対しまして様々な面で、ご支援、ご協力、ご理解いただいておりますことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

11 月ということで平成 28 年度上期の決算がまとまりまして、11 月 22 日の取締役会で報告をし、承認をいただいておりますので、この場にて若干のご報告をさせていただきます。

しなの鉄道線の平成 27 年度上期は、ご承知のように 4 月、5 月に善光寺御開帳があり、また、合わせて北陸新幹線の金沢延伸の効果もありまして、輸送の面では非常に好調でした。今年度はその反動減があり、4 月から 9 月末までの輸送人員前年同期比で申し上げますと、定期外いわゆる普通ローカルは 98.0%、定期を含めた全体では 97.2%となりました。ただ、予算上の比較では 99.5%となり、ほぼ見込みどおりとなっております。

ちなみに、善光寺御開帳の前年、平成 26 年度同期と比べると、通勤定期が若干減少しているものの普通ローカルは逆に 3.7%増えて 103.7%となり、全体の輸送人員も 99.3%ということで、善光寺御開帳前に戻った形でございます。当協議会副会長の上田市政策企画部長様もおられますが、ひとつは NHK 大河ドラマ「真田丸」の効果が、ある程度輸送の底上げをしていると分析をしています。

北しなの線の状況は、こちらも善光寺御開帳の影響があると思われませんが、前年同期比では普通ローカルが 93.4%、定期を含めた全体では 92.7%となりました。しなの鉄道線と北しなの線を合わせた全体の輸送人員は、普通ローカルが 96.8%、定期を含めた全体は 95.8%ということになりました。

この結果、中間決算の係数では、昨年度の中間決算における経常利益は約 3.9 億円ありましたが、今年度は約 1 億円減り 2.9 億円となりました。この数字はほぼ予算をクリアしており見込みどおりとなりましたが、当社は観光列車「ろくもん」も含め、春、夏及び秋と比べ

ると、冬季の間はお客様が減少します。通勤通学のお客様は減りませんが、普通ローカルのお客様が減ります。一方で人件費をはじめ費用は減ることはございません。現在は 2.9 億円の黒字を計上しておりますが、これが徐々に縮小し、おそらく 1 億円ほどになると見込んでおります。短期的にはこのようになりますが、当社が今後 10 年、20 年という長いスパンで見た場合には、沿線人口が減少していくのはほぼ確定している事実であり、少子化が進む中で通学定期の利用者も減ります。従いまして、運賃値上げをすれば別ですが、収入は漸減していくと考えています。

収入が減少していく中で、費用面では大きな課題があります。ひとつは設備投資です。一番は現在の 115 系車両ですが、車両は 40 年近く経っており、JR 様がしなの鉄道線区で使われたものを中古車として譲り受け修繕をしながら運行しております。安全上、今後 15 年、20 年の間には絶対に車両を替えざるをえない時期がまいります。もうひとつの課題は、当社社員の平均年齢が 35 歳と若く、現在の収入は非常に安い経費で稼いでいる結果が黒字という形になっており、平均年齢が上がるにつれ当然人件費も上がってまいります。当社は 250 人から 260 人の正規社員がいる中で、列車のワンマン化、事業の見直し等で沿線市町の皆様にご協力をいただいて経費節減はしておりますが、そろそろ人を減らすことは限界に近いと思っております。今後はこの設備投資及び人件費の上昇、それに加えて収益の減少ということはどうやってまかなっていくかが大きな課題となります。この課題に対するひとつの解決策は不動産です。遊休不動産の活用で収益を上げる、あるいは観光列車「ろくもん」のような観光事業でひとつの収益の柱をたてるということに積極的に手をうっていかないと、気が付いたら赤字になりましたといった話になってしまいます。中・長期的にはそのような課題がありますので、今後しっかりと方針を決めて行かなければならないと考えております。

今、お伝えしました観光列車「ろくもん」でございますが、若干ご紹介申し上げます。平成 28 年度上期は、食事付きプランの利用率が 84% です。84% という数字は、4 席の場所を夫婦でご利用されるなど相席不可とさせていただいておりますので、ほぼ満席状態と受け止めていただいて結構でございます。一方、食事のつかない指定席の利用率は 56% ということで若干苦戦をしておりますが、この辺の見直しをしていかなければならないと思っております。また、今年 7 月より開始した、宿泊と北信地域回遊が付随した広域観光型商品「ろくもん」クルーズトレインにチャレンジしました。好評の面もありますが、なかなか苦戦している面もあります。このプランの中で、JR 様と協力をして日本三大車窓である姨捨に乗り入れたり、長野市の戸隠、小布施に一部バスで巡っていただくといった商品もチャレンジしておりますので、十分検証しながら来年続けていきたいと考えております。

その他には、しなの鉄道は長野県の千曲川ワインバレー構想の地域と重なっており、当社としてもワインを商品のひとつとして売り地域の活性化にも貢献したいということで、12 月と 1 月に信州ワインバレー号として、ワイナリーと共同して 3 本ほどモデル的に運行します。結果次第では、来年も「ろくもん」の企画として検討を進めてまいりたいと思います。

さて、本日の協議会では、平成 26 年度から繰り越して行っております事業と、平成 27 年度に施工しました地域公共交通確保維持改善事業の事業評価、それから本年度のしなの鉄道の活性化に係る事業の実施状況につきましてご報告をさせていただきます。活発なご議論をいただき、ご意見、ご提言を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上、簡単ではございますが、開会のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

- (1) 平成26年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- (2) 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について  
事務局から「資料1」及び「資料2」を一括説明。

（質問・意見特になし）

<議長>

この事業につきましては、基本的には安全投資ということで国の補助制度がございます。国が3分の1、県と自治体から3分の1を補助していただいて、当社で3分の1を自己資金でといったスキームで整備を行っております。大変地元の市町の皆様には、財政負担等でご協力をいただいております。

- (3) 平成28年度しなの鉄道活性化協議会事業の進捗状況について  
事務局から「資料3」を説明。

（質問・意見等）

ア. 色々な取り組みをされていて、大変素晴らしいと思います。

様々な取り組みのなかで、イベント関係及び「ろくもん」は運賃収入の比率の中で、何パーセントくらい占められているのでしょうか。

<議長>

概略説明となりまして申し訳ございませんが、平成28年度上期の「ろくもん」売上収入は、1億2,500万円ほどございます。平成28年度上期の収入総額が22億5,000万円ですので、おおよそ5%くらいと思われれます。なお、営業収益の中に駅の物販など含めた運輸雑収入が約4億円ありますので、その運輸雑収入を基として考えますと、1億2,500万円は比率としては大きくなります。

先般JR九州様が上場されましたが、鉄道事業による収益は4割しかありません。6割は不動産事業で収益を上げております。当社は鉄道事業以外になく、観光列車「ろくもん」が鉄道以外の事業にチャレンジし始めているという形です。ほとんどが旅客収入に頼っており、その旅客収入が減ってくると非常に痛手になります。観光列車「ろくもん」など他事業で補填をしていかないと、安全設備の改修もできなくなってしまうことがあります。よろしいでしょうか。

<議 長>

今後とも平成 28 年の事業をしっかりとしまして、最終的なご報告をさせていただきたいと思います。

- (4) その他 (クリスマスイルミネーションで彩られた夜の軽井沢ツアーについて)  
事務局から軽井沢ツアーについて宣伝。

<議 長>

当協議会副会長より一言いただければと思います。よろしく願いいたします。

<しなの鉄道活性化協議会副会長>

いつも大変お世話になっております。私どもからもひとつお礼がございます。現在、全国の自治体でふるさと納税の取り組みが盛んに行われております。その中で上田市でもお礼の品の商品を企画しておりますが、しなの鉄道さんの「ろくもん」食事付き乗車券を 11 月 24 日から掲載開始をしましたところ、即座に 10 件の寄附申し込みがございました。普通ですとなかなか予約が取れないということで、大変人気のある商品となっております。上田市でも色々な面で色々な資源があると評判になっておりますので、ありがたく大変感謝しております。

それから、お蔭さまで NHK 大河ドラマ「真田丸」も大変人気があり、最終回に近づいてはおりますけれども、大河ドラマ館を訪れていただいた方は今月で 90 万人を突破いたしまして、目指せ 100 万人ということで一生懸命取り組んでいます。また、12 月 12 日の週は毎日、大河ドラマ出演者に上田市にお越しいただきトークショーを行う企画もございます。これらも含め、たくさんのお客様に上田市を訪れていただきたいと、そして来訪にあたってはしなの鉄道さんを利用していただければありがたいと思っております。100 万人を目指しながら、色々なところにも良い影響がでるようにもうひと踏ん張りしたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

4 閉 会

以 上